

## 教師が使う I C T 研修 7 ( 2 部 )

### インクルーシブ教育のために

教師が使うICT研修7「インクルーシブ教育のために」というテーマで、子どもの困り感とICTの有効活用について考えていきます。

(★)

## 研修のゴール

ある指導場面における児童生徒の  
困り感の予想や対策を考えること  
を通して、I C Tの有効性について  
話し合う。

【事前に2～3人グループに分かれておく】

今日の研修のゴールは「ある授業場面における児童生徒の困り感の予想や対策を考えることを通して、ICTの有効性について話し合う。」です。

(★)

# ICTの有効活用



◆視覚的に提示



◆焦点化して提示



◆再現・繰り返し提示



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

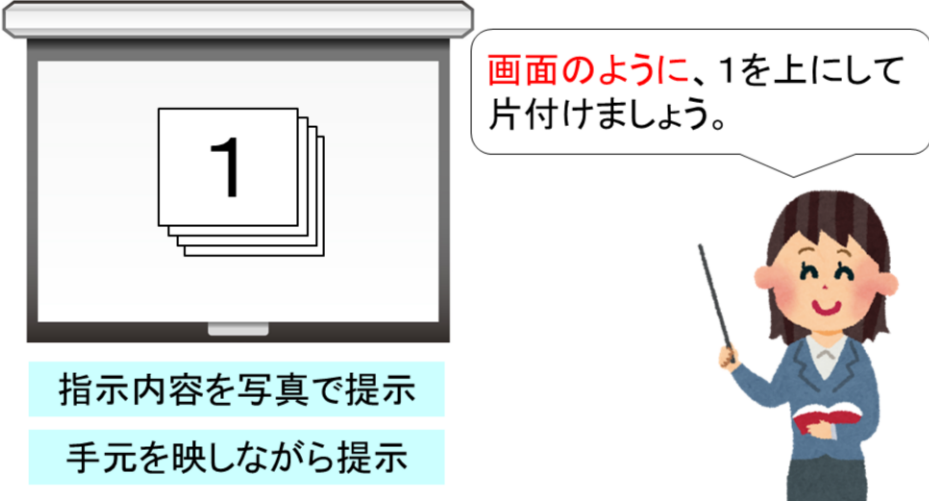
1部ではインクルーシブ教育を念頭に置いたICTの活用について

- ・視覚的に提示
- ・焦点化して提示
- ・再現・繰り返し提示

といった三つの提示を紹介しました。

(★)

## 視覚的に提示→聴覚情報+視覚情報



画面のように、1を上にして片付けましょう。

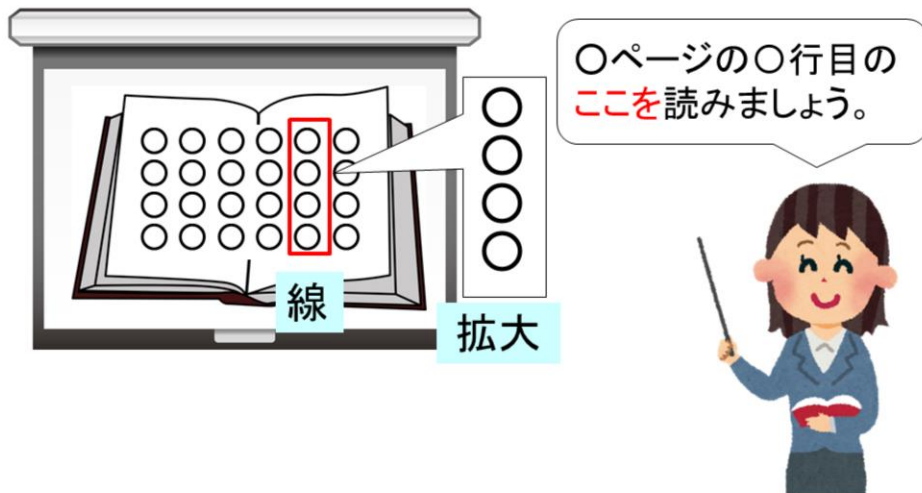
指示内容を写真で提示  
手元を映しながら提示

やまぐち総合教育支援センター 教師が使うICT

「視覚的に提示」とは、指示内容を聴覚情報に加え、視覚情報としても提示する方法です。

(★)

## 焦点化して提示→情報の限定



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

「焦点化して提示」とは、指示内容を線を引いたり拡大したりして焦点化して提示する方法です。

(★)

## 再現・繰り返し提示→習熟



動画の繰り返し再生

再生速度の調整

ゆっくり再生するから  
画面の動きに合わせて  
みましょう。



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

「再現・繰り返し提示」とは、実際にモデルを何度も再生したり、再生速度を調整してどの子どもも授業に参加させる方法です。

(★)

## 研修の流れ

事前に分かれているグループで活動

- I ある指導場面における子どもの「困り感」を予想する。
- II 「困り感」の解消・軽減の対策を考える。  
( I C T を活用しない場合、活用した場合 )
- III I C T を活用した場合の利点を話し合い、紹介する。

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

今回はこうしたICTの活用を念頭に、三つのステップで研修を行います。  
(★)

## 事 例

### 分度器の使い方を指導する場面

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

事例として、「分度器の使い方を指導する場面」を考えます。

※ファシリテーターが指導場面を変えることも可能

(★)



- ① この指導場面で予想される子どもの「困り感」について話し合い、ワークシートにまとめましょう。

(5分)

①予想される子どもの困り感

(例) 分度器のどちらから測るのか理解できないことが予想される。

まずは、この指導場面で予想される子どもの「困り感」について話し合い、ワークシートにまとめましょう。

時間は5分です。

(★)

- ② 予想される子どもの「困り感」を基に、  
「ICTを活用しない指導」と  
「ICTを活用した指導」とを話し合い、  
ワークシートにまとめましょう。  
(15分)

②「困り感」に基づいた指導について	
ICTを活用しない指導	ICTを活用した指導
(例) ・分度器を拡大印刷して活用する。 ・提示用分度器を活用する。 ・子どもを教卓周りに集める。	(例) ・分度器の測り方を手順に沿って 写真で提示し、それに合わせて 活動できるようにする。

次は、予想される子どもの「困り感」を基に、「ICTを活用しない指導」と「ICTを活用した指導」とを話し合い、ワークシートにまとめましょう。  
(★)

- ③ ICTを活用しない場合と比較して、  
ICTを活用した場合の利点を話し合  
い、ワークシートにまとめましょう。  
(5分)

③ICT活用の利点について

(例)

- ・ICTを活用しない場合に比べて、〇〇の点で効果的である。
- ・ICTを活用しないと〇〇だが、活用すると〇〇である。

次は、ICTを活用しない場合と比較して、ICTを活用した場合の利点を話し合い、  
ワークシートにまとめます。

時間は5分です。

(★)

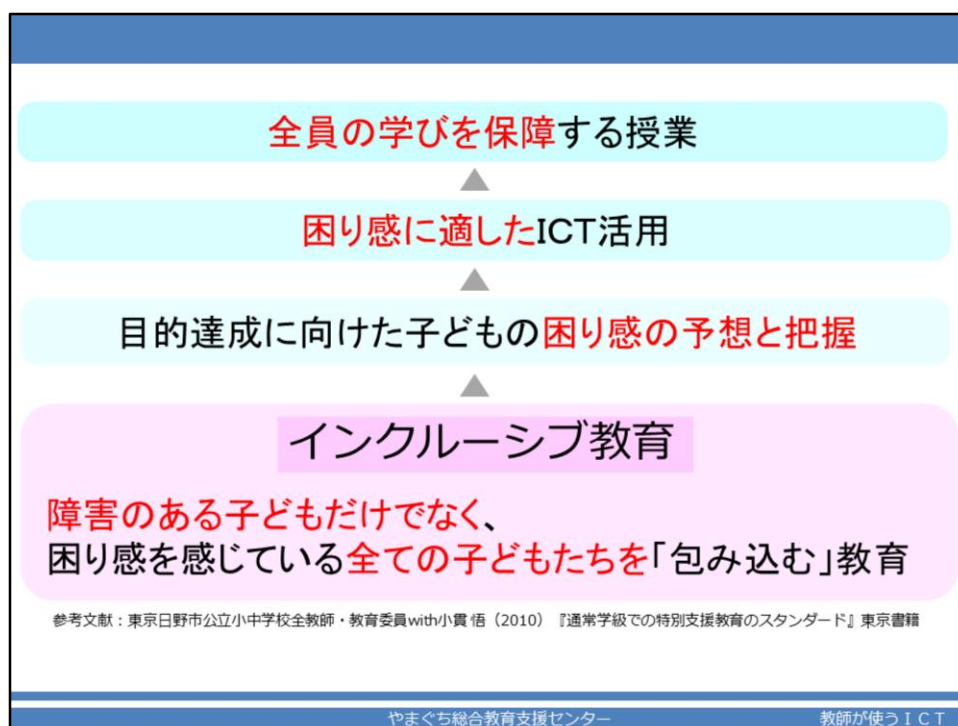
④ 各グループで話し合ったことをワークシートに沿って発表しましょう。

(5分)



最後に各グループで話し合ったことをワークシートに沿って発表しましょう。  
時間は5分です。要点を短くまとめ、発表してください。

(★)



1部でも確認しましたが、大切なのは次の点です。

まずは、全ての子どもたちを対象にするといったインクルーシブ教育の理念を教師がもつことです。

(★)そして、子どもたちの困り感を予想・把握し、

(★)その上で、ICTが効果的に活用できないか考慮します。

(★)究極的には特定の子どものみだけでなく、全員の学びを保障するといった目的を達成することが大切です。

(★)